



# 医師事務作業補助者という職種をご存じですか？

診療補助部 草薨 道代

医療業界では「医師事務作業補助者」という職種の存在がようやく認知されるようになってきましたが、患者さんの立場ではなかなか耳にする機会がないと思います。

「医師事務作業補助者」というのは、その名の通り、**医師の事務作業を補助する者**のことです。2008年、厚生労働省が、医師が医療業務に専念できる様、医師が行っている事務作業を補助し、事務負担を軽減するために生まれた比較的新しい職種です。当院では「ドクターズアシスタント（以下、DA）」と呼ばれ、2008年5月に当初7名でスタートし、現在18名が従事しています。

医師は多忙です。外来や病棟での診察や処置、手術だけでなく、救急の患者さんの為に昼夜を問わず診察を行い、処置をし、緊急手術をすることもあります。それでも翌朝には外来で予約のある患者さんを診察し、担当の入院患者さんを診療します。その他、カルテの記載、患者さんから依頼される診断書や証明書、役所から送られてくる様々な医療文書の記載に加え、論文執筆、学会発表など、業務は多岐に渡ります。これらの業務のうち、事務作業をDAが代行することで医師の負担を軽減し、ゆとりをもって患者さんと向き合う時間を増やし医療の質の向上を計るのが目的です。

当院におけるDAの業務内容は主に「外来・病棟業務」「がん登録・データ入力業務」に分けられ、「外来・病棟業務」の主な業務内容は医療文書の作成支援と外来診察補助業務です。日常診療で発生する様々な医療文書の作成支援や、外来診察時、医師の指示のもとカルテの代行入力や処方・検査オーダーの代行入力を行います。また、診療に関するデータ入力や学会・研究の為にデータ収集、文献検索も行っています。

「がん登録・データ入力業務」の主な業務内容は、院内がん登録、地域がん登録のほか、NCD（外科系の専門医制度と連携したデータベース入力）やJACVSD（循環器学会の症例入力）の登録補助を行っています。

DAの業務は、医学的知識が不可欠なため、自主的な勉強に加え、定期的に勉強会や研修会へ参加しスキルアップを図っています。また、患者さんに安心感を持って医療を受けて頂けるよう、より良い接遇を心掛けています。

もし、今度診察時に白衣姿で医師の横でパソコンに向かって入力作業を行っている事務員をお見かけしましたら、それが「医師事務作業補助者」です。医師の指示のもと、短い診察時間の中でも、医師がパソコンではなく患者さんと直接向き合えるよう、日々頑張っており医師をサポートしておりますので、今後ともよろしく願いいたします。